

## とちぎメディカルセンター第1病院・起工式・挨拶

本日、とちぎメディカルセンター第1病院の起工式を、挙行するにあたり、3代表理事を代表して、ご挨拶申し上げます。

皆様には、公私共に、たいへんお忙しい中、ご参列頂き、誠にありがとうございます。ございます。

この度、第1病院の起工式を迎えることが出来ましたのも、鈴木市長様はじめ、県議会議員の皆様、地域住民の皆様、そして数多くの関係者各位の皆様のご理解とご支援・ご協力の賜物と心より御礼申し上げます。

さて、この「第1病院」は統合再編事業の「柱」であります。栃木地区の地域医療再生・再興の「要」であり、地域の医療連携の中核を担う、「地域中核病院」であり、地域医療の拠点として、公益性の高い役割を担います。

主に急性期医療を担い、質の高い安心・安全な医療を提供し、地域から信頼され、愛される病院を目指すことが運営理念であります。

平成28年3月末には完成、4月には稼動を予定しております。

また、併せて、回復期・慢性期を担う「第2病院」、そして検診および在宅医療・看護・介護を担う「総合保健医療支援センター」を同時に整備することが重要・不可欠であります。3施設の機能が十分に連携しあうことにより、始めて地域完結型の医療提供体制、ならびに切れ目のない医療・介護提供体制を実現することが出来ます。

本日の起工式は、「始まりの始まり」にすぎません。

まだまだ多くの困難な課題を残しておりますが、この前例のない、困難な事業をなんとしても成功させるために、法人一丸となり、一致団結して、夢に向かって、全力で取り組んでいく覚悟でございます。

今後とも、何卒、特段のご理解とご支援、ご協力のほど、お願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

一般財団法人とちぎメディカルセンター  
代表理事 石井 重利